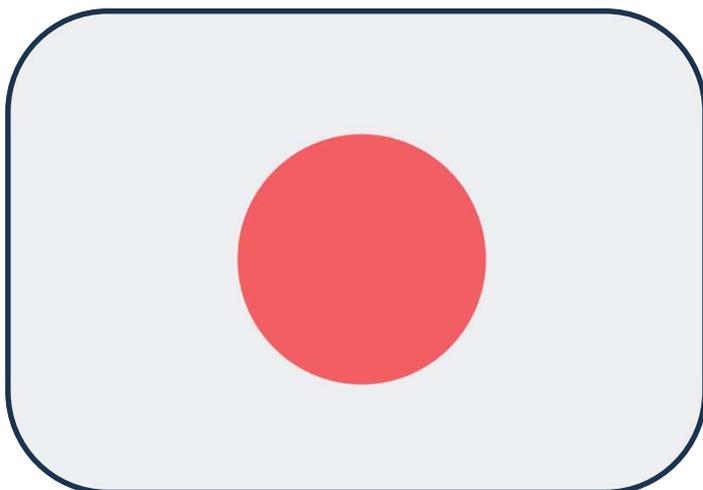


# インドCEO商談会2024

開催日程 2024年8月26日(月)～ 8月30日(金)



主催：独立行政法人中小企業基盤整備機構

# 目次

産業機械・ロボット

P2~15

自動車

P16~20

農業・食品機械

P21~25

I T

P26~30

ヘルスケア

P31~33

建材・素材

P34~35

CIN01

ナーゲルスペシャルマシナズ

NAGEL SPECIAL MACHINES PRIVATE COMPANY

(GROUP COMPANY OF FRANCIS KLEIN &amp; COMPANY)

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール (カルナータカ州)

[他事務所] デリー、コルカタ (西ベンガル州) 他

[HP] <http://www.francisklein.in>

ホーニングマシン

- 設立年 : 1992年
- 資本金 : 13億4900万円
- 従業員数 : 108名
- 売上高 : 15億円
- 事業内容 : 工作機械の製造、販売
- 主要製品 : 工作機械
- 取引先 : 自動車メーカー、航空宇宙メーカー
- 国際認証 : ISO9001、CEマーク
- 日本企業との取引経験 : 有

### 【会社概要】

当社は工作機械産業で70年の歴史を持つフランスのFrancis Klein社とドイツのNAGEL Maschinen社とのインドにおける合弁企業である。Francis Klein社は過去20年間、合弁企業である当社を通じてインド国内で高精度な工作機械の製造に携わり、コスト効率の高い技術を顧客である各種製造メーカーに提供し続けている。

また当社は専門商社として自動車、航空宇宙、防衛、発電、一般エンジニアリング等の各業界に幅広いネットワークを有し、世界各地から生産性の高い工作機械の輸入販売により成長著しいインド製造業の幅広いニーズに応えている。

### 商談会参加目的

#### ■ 代理店契約・日本製品の販売

革新的な工作機械をインドで供給可能な日本企業との商談を希望している。例えばマイクロマシニング加工などの革新的技術を有するメーカーや、エレクトロニクス産業や医療機器業界、研究開発機関で使用可能な機械製品を生産するメーカー、取扱商社等を想定している。当社と代理店契約を締結することで、インドの主要工業都市に所有する強力な販売・サービスネットワークの活用と、自動車業界をはじめとする幅広い産業へのアクセス、更には加速度的に発展するインドでの成長を取り込むことが可能となる。

#### ■ 共同開発・技術提携

自動車、航空宇宙、発電および一般エンジニアリングで使用される高精度CNCマシン分野で、工作機械の製品・技術を持つ日本企業と共同開発・技術連携を前提とした商談を希望している。具体的には日本企業から工作機械の重要部品の供給を受け、その他周辺部品をインドで製造または外部から調達し最終製品に仕上げる開発スキームを想定している。インドにおける安価な製造コストを利用して製品競争力を高めることで日本企業も利益享受が可能である。



ホーニングマシン

CIN02

## XNGオートメーション・ソリューションズ

XNG Automation Solutions Pvt Ltd

[参加予定者]販売部長  
 [本社]ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所]  
 [HP] [www.xng.co.in](http://www.xng.co.in)



工場自動化

- 設立年 : 2011年
- 資本金 : 500万円
- 従業員数 : 145名
- 売上高 : 10億5000万円
- 事業内容 : 設備機器製造・販売業
- 主要製品 : 工場自動化機器開発・製造
- 取引先 : 自動車、電機製造業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

## [会社概要]

当社は2011年設立の、工場向け自動化ソリューション提供を主業としている企業。具体的には、自動車のパワートレイン組立ライン、EVバッテリー組立ライン、家電用電化製品組立ライン、倉庫用コンベアオートメーション機器の製造、納入が中心。特に年齢的にも若く、一体感があり質の高いエンジニアリングチームが当社の強みにて、品質面でも安全面でも顧客の要求基準を満たすことをコミットしている。お客様の自動化の要望に対し、ターンキーでソリューションを提案することも可能。今回は設備機械関連企業との連携を希望し商談会に参加したい。

## 商談会参加目的

## ■ 代理店契約・日本製品の販売

日本の設備メーカーから、リチウムイオンセルの製造機器並びにバッテリーパック製造機器の購入を検討したい。更に検査機器等に使用する産業用カメラとシステムの購入も希望。他国の製品もすでに取り扱っているも、やはり品質面で優れる日本製の取り扱いを希望する。当社はインドにおいて、Bosch、PSA、Toyota、Mahindraといった国内・グローバル優良企業と既に取り扱があり、日本企業の製品を優良顧客に販売することを狙いたい。

## ■ 共同開発・技術提携

日本の設備機器メーカーとの技術提携にて、電気製品向けEMSシステム、自動車業界向けのディスペンシング機器並びにレーザーソリューションの開発を希望。そのうえで日本製の品質を持つ製品をインド国内に展開することを狙う。提携における当社の強みはエンジニアリングパートナーとしての実績。日本企業との提携によって製造した製品を当社の優良顧客に販売したい。また、当社工場にてOEM生産し、インドのみならず他国に輸出することも検討可能。



自動化設備

CIN03

エフワ・インフラ・アンド・リサーチ

Effwa Infra &amp; Research Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ターナー（マハーラーシュトラ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://effwa.co.in/>

逆浸透膜分離装置

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : 32億1000万円
- 従業員数 : 113名
- 売上高 : 26億2500万円
- 事業内容 : 工業廃水処理設備建設
- 主要製品 : 工業廃水処理プラント
- 取引先 : 繊維、皮革、製紙、食品加工等の製造メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

当社は法人向け排水処理を専門に行う会社で、海外含めて2000件ほどの排水処理施設建設に関わってきた。インドの工業廃水処理は液体排水ゼロが原則で、濃縮水は蒸発装置と燃焼システムで完全消滅させる。繊維、皮革、製紙、食品加工、酪農、鉄鋼、鋳業、重化学、醸造、化学品製造等、あらゆる産業におけるさまざまな排水を一次処理（分離・分解）、濃縮水の蒸発、焼却のプロセスで処理するもの。電気処理、昇圧による透過や、焼却等、エネルギー集約型のプラントとなるため、省エネ性能が最も求められる技術となる。



排水分離装置

### 商談会参加目的

#### ■ 日本企業からの購入

日本の省エネ装置に興味がある。正浸透膜分離装置、MVRと呼ばれる廃熱利用の高効率蒸発装置、電気凝縮装置、高酸素燃焼装置等が主なもの。Saranと呼ばれる生物膜処理システムを使用したことはある。生触媒分解（バイオリクター）や逆浸透膜を中心に日本の浄化システムは定評があり、省電力、効率性を重視した機器、システムを購入したい。また中規模家庭排水処理システムにも興味があり、回収された水は工業用用水としてリサイクルに回す必要があり、各工程におけるリサイクル利用、廃熱利用等、徹底した省エネ技術が必要となる。

#### ■ 共同開発・技術提携

工業廃水処理における一次処理、濃縮水の蒸発、焼却という従来の工程にこだわらない処理システムについて日本メーカーとの技術提携、協業を希望する。また大規模工場の排水処理の様なスケールの大きな取組については、日本からの資金支援も含めた合併事業となってもかまわない。インド国内では浸透膜、同機械装置、省エネシステム分野にプレーヤーが少なく、優れた技術が集約している日本企業との協業を希望する。

CIN04

# スープラム・インダストリーズ

## Supram Industries

[参加予定者]代表取締役  
 [本社]ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所]－  
 [HP] [www.supramindustries.com](http://www.supramindustries.com)



自動車シート用スライダー

- 設立年 : 1994年
- 資本金 : 1億5000万円
- 従業員数 : 65名
- 売上高 : 2億7000万円
- 事業内容 : OEM製造業
- 主要製品 : 精密加工部品
- 取引先 : 自動車、航空機企業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

当社は1989設立、自動車・鉄道・航空宇宙・医療・食品加工機械向けのOEM製造企業として成長してきた。具体的には精密CNC機械加工部品、スタンピング部品、サブアセンブリ、自動車シート用スライダー等が主要製品。また、B2Bの仕事以外には、B2C向けとして、電子体重計とガス漏れ安全装置を製造している。当社の強みは設計・製造・アフターサービスにおけるエンジニアの高い技術力。また、日系企業のOEM生産、オランダ企業との共同研究開発の経験もある。商談を通して、技術提携、OEM製造、合併設立等幅広く提携の方法を検討したい。

### 商談会参加目的

#### ■ 代理店契約・日本製品の販売

すべての顧客に対応できる能力の高い販売・サポートチームを有している。日本企業からは、宝石の重量測定等に使う、ミリグラム単位まで正確に測れる電子重量計や金属切削工具、家庭用IOT関連製品、病院の手術用器具を購入したい。また機械・電気系エンジニアのレベル高く、据付からメンテナンス対応まで可能。尚、現時点では顧客への直売を行うも、拡販のためディーラーをアポイントする予定。

#### ■ 合併会社の設立

当社の次世代に向けた戦略として、新技術と販売力強化に注力したい。当社がマジョリティーとなりインドに合併企業を設立を検討している。合併で製造する製品・分野は、自動車シート用スライダー、自動車シート高さアジャスター、鉄道関連インターフェイスシステム、手術器具、環境対応エネルギー、宇宙航空機用部品及びシステムであり、日本企業には新技術の供与あるいは販売ネットワークの共有を期待している。



電気重量計

CIN05

## CNCインディア・ツールズ・アンド・サービス

CNC INDIA TOOLS &amp; SERVICES PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 製造部長  
 [本社] ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://cnc-india.com/>



当社工場

- 設立年 : 1992年
- 資本金 : 1億6000万円
- 従業員数 : 170名
- 売上高 : 17億3000万円
- 事業内容 : 設備機械設計製造業
- 主要製品 : 組み立てライン、ロボット関連機器、治具
- 取引先 : 主要自動車メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

## [会社概要]

当社は1992年設立、自動車・航空機器・医療機器を中心とした幅広い業界に、カスタマイズされた設備機器、検査機器、組み立てライン、治具をはじめハードの提供だけではなく、お客様のニーズに合致したソリューションを提供している。継続的なトレーニングを受けている優秀なエンジニア160名と6万平方フィートの専用機械加工、組み立てエリアを有し、インド国内優良企業のみならず、米国、中東、アジアにも輸出実績あり。今回の商談会では、販売・技術提携・合併設立といった幅広い提携形態を視野にいれ、日本企業との長期的関係を構築したい。

## 商談会参加目的

## ■ 日本企業からの購入

当社は、ターンキーのオートメーションソリューション並びにロボットソリューションをお客様に提供することを強みとする会社である。治具、組み立てライン、特殊用途の設備機器をはじめとして、当社の専門性に合致する関連商品の購入について広く検討したい。また、切削工具については、すでに日本の製造企業と20年間の提携関係にあり、日本企業との取引にも慣れている。商談会における日本企業の提案を期待する。

## ■ 合併会社の設立

航空機関連、防衛産業、自動車業界への販売を視野にいれた、当社専門性と合致する日本の設備機械メーカーとの合併を検討したい。具体的な製造したい製品、分野はサーマルコーティング、CNCコントロールあるいはロボット使用フィラメントワインディング、組み立て治具並びにキャニスター、ロータリーテーブル、上記業界関連向け構成部品製造。なお、提携の方法としては技術支援でも構わない。



当社設備機器

CIN06

## スリニバス・インダクション・ハードニング

SRINIVAS INDUCTION HARDENING

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベラガーヴィ (カルナータカ州)  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://www.sihnetalkar.com>

## 【会社概要】

Netalkarグループの3番目のビジネスユニットとして1998年に設立され、現在ではインドにおいてクランクシャフト、シリンダー製造メーカーとして確固たる地位を確立している。当社の工場では1気筒から6気筒まで 特殊エンジン向けを含む様々なタイプ計53 種類のクランクシャフトを製造しており、各業界の大手製造メーカーからの要求仕様に基づき厳格な品質管理の下 100% OEM供給している。当社の事業構造の約8割は農業部門に集中しているが、現在は自動車、発電機、コンプレッサー等の新たな領域に事業を拡大中である。

- 設立年 : 1998年
- 資本金 : 15億1700万円
- 従業員数 : 364名
- 売上高 : 16億4100万円
- 事業内容 : 精密機械加工業
- 主要製品 : クランクシャフト、シリンダー
- 取引先 : 農機、自動車、重工業メーカー
- 国際認証 : IATF16949、ISO45001
- 日本企業との取引経験 : 有



クランクシャフト

## 商談会参加目的

## ■ 日本企業からの購入

当社はインダストリー4.0を目指し、最新の世界最高クラスかつ、完全自動化された機械設備を備えた製造工場を有し、顧客の要求仕様に対して100%完璧な品質と納期、コストでお応えすることで顧客から高い評価と満足度を得ている。今回は工作機械を取り扱うメーカー、商社との商談を希望しており、製造設備の購入を検討している。特にオービタル研削盤、HMC(横型マシニングセンタ)、VMC(縦型マシニングセンタ)、研削ホイールなどの購入に関心がある。



クランクシャフト

CIN07

# ケイ・ジェイ・フォージングズ

## Kay Jay Forgings Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ルディヤーナー（パンジャブ州）  
 [他事務所] ホスールタルカ（タミルナードゥ州）  
 [HP] <https://www.kayjayforgings.com>



鍛造部品

- 設立年 : 1983年
- 資本金 : 2600万円
- 従業員数 : 3290名
- 売上高 : 123億円
- 事業内容 : 金属加工業
- 主要製品 : 自動車部品
- 取引先 : 自動車メーカー、重機メーカー、自動車部品メーカー等
- 国際認証 : ISO45001
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

当社は金属加工部品メーカーで鍛造から機械加工まで、車軸、ハンドル軸、クランクシャフト等、自動車を中心とした搬送機械一般のシャーシ周り金属部品を得意とする。インド内の2輪、3輪、4輪メーカーにはすべて納入実績あり、農業や鉱山用搬送車にも供給する。EV関連にも多様化しており、車体やサスペンション等のエンジン回り以外にも分野は拡大している。製造用具、治具、ゲージ等の備品類から自社製造し、品質を維持、欧州有数の車両部品メーカーとは長年の商売関係にある。従来のシャーシ周りにとどまらず、EV化の流れで他の車体部分へも本格参入を目指している。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

EV化の本格化により加工機械の再投資が喫緊の課題で、溶接機やVMC（真空電磁接触）機器、及びCNCの回転工具主軸等に手を入れる必要あり、作業工程合理化、作業効率アップ、及び製造用具の見直し等、日本の優れた技術を持つメーカーとの技術提携、また冷間鍛造、及び熱間鍛造の自動化も含め、金属加工技術の根幹部分を本格的に見直したい。必要によっては工場のインフラも含めた改造、テスト器具の入れ替え等の抜本的な改良にも関わる設備投資一般で日本の技術によるサポートが欲しい。



クランクシャフト



その他部品

CIN08

# アピコム・オートメーション

## Apicom Automation Pvt.Limited

[参加予定者] 取締役  
 [本社]ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所] ー  
 [HP] ー



自動組み立てライン

- 設立年 : 2008年
- 資本金 : 800万円
- 従業員数 : 59名
- 売上高 : 6億1000万円
- 事業内容 : 精密機械加工
- 主要製品 : 組み立てライン、オートメーション機器
- 取引先 : 自動車・電気製造業
- 国際認証 : TUV
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

当社は、2008年設立、インドの大手自動車企業を支援すべく、イタリアのApicom S.p.a.との合併として設立された企業にて、エンジン、トランスミッション、ギアボックス、アクセル組み立てライン等に関し、設計、製造、組み立て、検査に至るまでトータルでのサービスを提供している。当社の成功要因は、グローバル市場の進化も見据え、顧客のニーズを満たす柔軟性と、設計から製造に至るまで、総合的に顧客満足を提供できる体制。バッテリーパック並びにEV検査技術に関し、日本企業とパートナーシップを締結すべく、今回の商談会に参加する。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

当社は、EV用バッテリーパックのオートメーション組み立て並びにEVの検査技術に関し、日本企業との技術提携を検討したい。当社の強みは、16年間の製造経験があり、アショカ・タタ・マヒンドラといったインド優良企業ならびに日本の自動車企業に部品、コンポーネント、組み立てラインを供給してきた実績。また、当社機器と顧客をつなぎ、タイムリーな分析を可能とするデータ開発にも興味あり。製造の効率化・品質改善のために、日本企業との共同開発に向けた商談を希望する。



自動組み立てライン

CIN09

# ソナ・ホロロジカルズ

## Sona Horologicals Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール（カルナータカ州）

[他事務所] 香港

[HP] <https://www.sonawearables.com>

皮革バンド



PVDバンド



時計完成品（OEM）

- 設立年 : 1994年
- 資本金 : 7500万円
- 従業員数 : 330名
- 売上高 : 15億円
- 事業内容 : 腕時計部品製造業
- 主要製品 : 腕時計バンド（皮革、スチールメッキ、イオン蒸着品）、腕時計
- 取引先 : 欧米時計メーカー、腕時計バンドメーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

当社は腕時計バンドを主力にする腕時計部品メーカーである。腕時計製造では、年間約700万本の各種皮革品、400万本のスチール品、及び200万本のイオンプレーティング品を製造しており、腕時計完成品としては年間約300万本を製造している。バンダ（Banda）ブランドの腕時計バンドOEMとして有名で、中国生産も実施している。欧米の有名時計メーカーのOEM生産も請け負っており、日本メーカーとも一部取組がある。

中国の時計メーカーからの受託加工が多く、開発・設計は海外に依存する場面が多い。既に香港には事務所があり、中国を中心とする時計メーカーとの連絡窓口となっている。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

当社のバンダブランド製品供給を通じて、日本マーケット、日本品（バンビ）についての知識がある。自社製品の品質向上を目指し、日本の加工機械や加工工程に関する知見全般に興味がある。特にPVDの蒸着技術については機械も含めて今年中に拡充（設備投資）したいと考えている。また近い将来、金属加工（金型）や機械加工技術により部品製造も自前で実施したい。日本メーカーからの技術移転を含めた協業を期待しており、今後成長の見込まれるインド市場開拓、インドを拠点とした腕時計輸出の拡充を図りたい。

CIN10

# アキュテック・エンタープライズ

## Accutech Enterprises

[参加予者] 代表取締役  
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)  
 [他事務所]—  
 [HP] [accutechenterprises.com](http://accutechenterprises.com)



シリンダー部品

- 設立年 : 2000年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 190名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 機械部品加工業
- 主要製品 : 精密機械部品
- 取引先 : 重機械メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

当社は精密機械部品メーカーで、宇宙航空機、鉄道機関車分野に強い。インドの航空機、鉄道関係は急速に発展しており、部品需要は大きい。

多品種小ロット生産、短納期に応えるべく、生産性を限界まで高めることが必要で、製品歩留まり向上、生産切り替えに関わる時間短縮、生産工程管理等の全般的製造プロセス合理化が課題である。

世界有数の重機械メーカーからの厳しい品質要求にこたえるため、世界標準の生産技術により、生産性と品質管理を両立させることが求められている。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

重機械の部品、特に航空機や鉄道関連が多く、生産時間短縮のため、工程合理化につき日本の優れた工程管理、生産性向上に向けた操業技術等を学びたい。工程管理全体の考え方、新しい部品を素早く仕上げる方法や、生産品種変更に関わる時間短縮等、全体的な合理化が不可欠。世界有数の重機械メーカーから技術指導を受けているが、日本メーカーとの技術提携に基づき実践的な取り組みが必要で、日本の技術と実践指導を求めている。



機関車部品

CIN11

# アスピロ・コンサルティング

## Aspiro Consulting LLP

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://aspiro.in/>



**Project Review & Recovery**  
 Review of the troubled projects and help in recovery

- Improve stakeholder management & communication
- Redefining the project
- Review resource management
- Resolve technical issues
- Provide consulting to Project Manager or take over the project



**Implementation of PM Practices**  
 Implement the Project Management best practices

- Review the PM Framework and make changes as needed
- Map the existing PM processes
- Optimize the processes and document the recommendations
- Train the PM team and help adopt the new framework



**Upskilling of PM Team**  
 Train the staff on the best practices in PM as per Project Management Body of Knowledge (PMBOK) Guide of PMI

- Workshop covering one, many or all of the 10 knowledge areas – Integration Management, Scope Management, Time Management, Cost Management, Quality Management, Risk Management, Procurement Management, Human Resources Management, Communication Management, & Stakeholder Management

### コンサルティングサービスの概要

- 設立年 : 2017年
- 資本金 : 18万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : 646万円
- 事業内容 : コンсалティング業、商社
- 主要製品 : ビジネスコンサルティング及び各種機械卸
- 取引先 : 製造業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

### 商談会参加目的

#### ■ 代理店契約・日本製品の販売

グループ企業であるBrahmantra Venturesでは、産業用ガスやMetfab（金属加工）向けの機械装置を取り扱っており、日本企業から良い提案があれば購入を検討したい。具体的には、極低温に関する装置、産業用ガスコンプレッサー（酸素、窒素、アルゴン等）、CBG コンプレッサー、LNG コンプレッサー、産業用ガス回収ユニットなど。Metfab向けの機械装置の競争は激しいが、生産性やコストパフォーマンスの良い製品があれば提案を希望。

#### ■ 共同開発・技術提携

造船やガスなどの重工業から中小企業まで多様な業種や規模に対してコンサルティングサービスを提供できることが強みであり、プロジェクト管理、ビジネスプロセス最適化、販売およびマーケティングコンサルティングを共同で開発したり互いの顧客に提供するような関係構築を希望。またこれらトピックに関連するトレーニングについて協働が可能である。日本企業との取引実績はないが、現地に進出済、これから進出する日本企業向けの新たなサービス提供についても協働を検討したい。

#### [会社概要]

プロジェクト管理コンサルティングや研修を企業に提供するビジネスコンサルティング事業を展開。未だスタートアップの段階だが産業政策推進局 (DIPP) の「Startup India」キャンペーンの下で優良企業と認定されるなど今後の成長が期待されている。他に3つのグループ企業を持ちそれぞれ異なる事業を展開。商談会では、ビジネスコンサル事業に関する日印両市場での協業可能性や、グループ企業が行うエネルギー関連の機械装置に関し、魅力的な製品を提案頂ける企業との商談を希望している。

CIN12

# インダズバイ・サプライチェーン・ソリューションズ

## Induzbuy Supply Chain Solutions Private Limited

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社]ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://platform.induzbuy.com/>

### 【会社概要】

当社は機械、部品等、様々な産業用の工業製品を調達し、インドの各種製造メーカー向けに販売する「eディストリビュータープラットフォーム」を提供する初の企業である。当社のプラットフォームは、産業クラスター単位の需要集約や、最低2つの代替サプライヤーを提示する即時自動見積り、End to Endでの売買を可視化する等の機能を備えており、高効率かつ低コストであることが最大の特徴である。現在このプラットフォームにはインドの大手製造メーカー850社がバイヤーとして登録されており、各種工業製品の調達を通して顧客の製品製造から販売に貢献している。

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 20万円
- 従業員数 : 12名
- 売上高 : 4700万円
- 事業内容 : 工業製品販売業
- 主要製品 : 調達プラットフォーム
- 取引先 : 各種製造メーカー
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

### 商談会参加目的

#### ■ 代理店契約・日本製品の販売

当社のeディストリビュータープラットフォームに関心を持つ日本企業との商談を希望している。特に溶接、溶接関連の消耗部品、潤滑油、工具、ベアリング、ファスナーに関連する製品部材の調達に関心を持っている。当社のプラットフォームに登録する日本企業にはインドにおけるマーケティング活動や、それに関わるコストを削減できる他、産業クラスター単位での集約された需要情報やインドの顧客に瞬時にアクセスできる等のメリットを提供可能である。



Induzbuy



Induzbuy

CIN13

# 日本オイルポンプ・インディア

## Nippon Oil Pump India Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)  
 [他事務所] プネー (マハラシュトラ州) 等  
 [HP] <https://www.nopindia.com>



トロコイドポンプ

- 設立年 : 2015年
- 資本金 : 1億5000万円
- 従業員数 : 20名
- 売上高 : 3億3000万円
- 事業内容 : ポンプ製造業
- 主要製品 : トロコイドポンプ、潤滑油供給ポンプ
- 取引先 : 機械、自動車メーカー他
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

当社は日本オイルポンプのインド法人である。トロコイドポンプを中心に潤滑油供給に関わるあらゆる機械に使用される油量制御ポンプ製造メーカーである。また、近年開発された冷却水循環ポンプも広く産業、農業等のあらゆる機械に使用されている。但し、業容拡大のため新規分野を含め、製造品目の多様化を求められており、他社製部品の利用や取り扱いにも力を入れている。機械部品、特に金属加工機械等の部品関連では、自社加工も含めて取り扱いには習熟しており、日本の最新技術に基づく新しい部品、システムに期待している。

### 商談会参加目的

#### ■ 日本企業からの購入

旋盤、マシニングセンター等の製造関連部品の購入、取り扱いに興味がある。自社使用が中心だが、専門知識を生かしたインド内販売も検討出来ると良い。また、今後内燃機関にかわり、EVや水素関連、アンモニア燃料関連の駆動装置が増えるのに合わせて、新エネルギー関連部品、モジュール部品などを取り入れたい。既存ポンプ部品で集積された知見を活かして日本企業との新規開発も視野に入れて取り組みたい。

#### ■ 共同開発・技術提携

同上日本企業からの購入を基盤に、自動化装置に関わる共同開発、技術提携等の関係に発展できると良い。広く生産自動化、品質の均一化に資する様な制御関係機械、ロボット等の開発、技術提携、特に冷却関連装置の延長線で既存技術が生かせる分野があると理想的である。



Coolant ポンプ

CIN14

## デビログ・システムズ・インディア

Devilog Systems India

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール (カルナータカ州)

[他事務所] ー

[HP] <http://www.devilog-group.com/>

工場内観



エアフィルター



燃料フィルター

- 設立年 : 1986年
- 資本金 : 2億2500万円
- 従業員数 : 92名
- 売上高 : 7億5000万円
- 事業内容 : 精密機械部品の製造・販売
- 主要製品 : 自動車産業向け精密部品
- 取引先 : 自動車メーカー
- 国際認証 : IATF16949
- 日本企業との取引経験 : 有

## [会社概要]

主として自動車産業（メーカーおよびTier1サプライヤー）に対し、精密機械部品を供給するメーカー。

創業以来35年以上にわたり、精密部品加工・組立の分野で知見を積み重ね、主要自動車メーカーをはじめとする顧客の信頼を得てきた。

現在では板金・CNC・組立・ダイキャストの4部門を持ち、エアフィルター・燃料フィルター等の各種フィルター類やブレーキ用真空ポンプ、その他精密工具・治具等を製造販売している。

売上の7割は自動車産業、3割がその他産業である。また売上の約2割が顧客を通じてインド国外に輸出されている。

## 商談会参加目的

## ■ 合併会社の設立

インドにおいて精密機器部品の低コスト製造拠点の設立を検討している日本企業との商談を希望している。分野は自動車産業に限らず、ヘルスケア、航空宇宙、その他産業一般等、多様な産業分野の日本企業との議論を歓迎する。当社は主として各種フィルター類やポンプ類、精密金型用工具等を製造し自動車メーカーやTier 1 サプライヤーに供給しているが、同様の精密機器部品は他産業においても需要があるものと考えている。また、合併会社までのステップとして、最初は技術提携等の簡便な協業形態からスタートし、関係構築・深化に伴って中長期的に合併に発展していくというシナリオにも前向きである。なお、合併のパートナーとなる日本企業には、当該分野での技術・知見や、日本やその他海外市場への輸出を念頭に置いた顧客ネットワークについても支援を期待している。

CIN15

# バラジ・インダストリーズ

## Balaji Industries

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベラガーヴィ (カルナータカ州)  
 [他事務所] ー  
 [HP] ー



ギアブランク

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 12億6000万円
- 事業内容 : 精密金属加工
- 主要製品 : 自動車部品 (エンジン回り、歯車等)
- 取引先 : 変速機メーカー、自動車部品メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

精密金属加工を得意として、主に自動車エンジン部品と変速機用歯車を生産している。但し内燃機関エンジンは今後EVに置き換わっていくため、製造品目の多様化が必須である。EV関連の部品はもちろん、シャーシやボディー部材、充電ステーション用の部品等も検討してみたい。鍛造・鋳造品の加工機械は揃っているため、自動車以外の搬送機分野、例えば農業機械、重機械等のエンジン部品への多様化も検討課題となる。今後の市場動向を見極める必要はあるが、金属加工分野の自動化や先端技術を極めて生き残りを図りたい。

### 商談会参加目的

#### ■ 代理店契約・日本製品の販売

世界有数の自動車部品メーカーとの長年の取引関係を生かし、将来的なインド生産の前提として日本の自動車部品の代理店販売に興味がある。現状のエンジン部品、歯車からの多様化として、新しい分野、特にEV関連部品、シャーシやボディー、充電ステーション周りなどが考えられる。CNC、マシニングセンター等の加工機械はそろっているため、将来的にそれら加工機械が活用できる分野で生き残りを図れると良い。

#### ■ 合併会社の設立

日本の自動車産業に関わる工程管理、生産効率化、自動化等の全般をインドに取り入れたい。既にリーン生産方式を取り入れ、一定のプロセス管理、効率化は達成しているが、インドでの限界は従業員が先端的な技術に触れる機会が少ないこと、世界の技術革新に追いつけていないことにあり、日本企業との合併を通じて気づきがあるとよい。そして日本メーカーがどの様にして現在のプラントを築き、維持しているかを学び、理解したい。



変速機

CIN16

ベルガウム・フェロキャスト・インド

Belgaum Ferrocast India Pvt. Ltd.

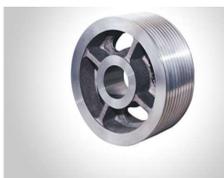
[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベラガーヴィ (カルナータカ州)  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://www.bfplindia.com>



油圧機械部品



変速機部品



自動車エンジン部品

- 設立年 : 2005年
- 資本金 : 3900万円
- 従業員数 : 444名
- 売上高 : 3億7500万円
- 事業内容 : 鉄鋼製品製造加工業
- 主要製品 : 機械部品、特に重機械向け油圧部品、自動車部品等
- 取引先 : 自動車部品、各種産業機械メーカー
- 国際認証 : ISO9001、14001
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

当社は鉄鋼製品製造会社であり casting 加工に特化している。主に油圧部品、インフラ関係部品、重機械用部品、変速機・及びエンジン回りを中心にした自動車部品等を関係機械メーカー向けに販売している。顧客機械メーカーでは組立を行うだけの状態まで加工、仕上げ、性能確認されて出荷される。

鑄造部門では各種鑄鉄を型に流し込む成型、加工部門では各種CNC、マシニングセンター等で最終部品まで加工を実施。その後各種品質検査が実施される。輸出が多く、アメリカ、ドイツ、フランス、英国向けが主。有名自動車部品メーカーはじめ、世界有数の産業機械メーカーや、各種エンジンメーカーが主要顧客。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

欧米機械・輸送機器メーカー向け供給が多く、日本の鉄鋼製品の品質は良く知っており、日本の鉄鋼メーカーとの協業を通じて、製造・加工工程全般を改善、合理化したい。日本製機械全般を導入することによる加工精度向上、そして各種鑄鉄加工部品の組み立て能力向上も達成したい。現状4輪自動車関連は全体の5~7%ほどだが、同上の加工、組み立て能力向上を通じて将来的なEV向け部品をはじめとして、供給先の多様化を図りたい。

#### ■ 合弁会社の設立

上記プロセスを通じて日本パートナーとの信頼関係を深め、インド西部ベルガウム (カルナータカ州) にて合弁会社を設立できると良い。原料溶解・鑄造能力向上を通じて国内ポリウムゾーンを狙い規模拡大、またインドのコスト競争力を生かし欧米向け製品輸出の拡充を図りたい。本インド合弁企業は、日本のパートナーにとっても今後伸長が期待できるインド市場に進出し、また欧州、アフリカ向けの新たな輸出拠点として位置付けることが可能となる。

CIN17

# スルジャナ・エンタープライズ

## Srujana Enterprises

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)  
 [他事務所] ー  
 [HP] [www.srujana.com](http://www.srujana.com)



自動車部品

- 設立年 : 1994年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 150名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 金属板金加工業
- 主要製品 : 自動車部品
- 取引先 : 自動車部品メーカー各社
- 国際認証 : ISO9001、14001、45001
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

当社は金属板金加工を行い、インド有数の生産能力を誇る。月間3億枚のプレス能力があり、自動車産業向けが主だが、電機、重機械、通信業界にまで顧客層を多様化している。真鍮、銅、ニッケルの加工が主で、レーザーで溶接加工を行い最終部品に仕上げている。

自動車部品では内燃機関用が主だが、EV関連でもバッテリーの導電部品 (Bus Bar)の生産を始めており、新素材の取り扱いでメーカーの開発部隊との協業が進んでいる。素材により新型プレス機械の導入や新しい溶接方法を採用したり、先端的な技術の習得が必要となっている。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

25トンから110トンまでドイツ製、スイス製、日本製のプレス機械を揃えておりあらゆる加工要請に応じることが出来るが、一層の生産自動化が課題となっている。日本の技術を取り入れ、一層の生産性向上と新製品製造にチャレンジしたい。インドではスズキ、トヨタ、デンソウ、矢崎総業等の日本メーカーとの取引があるが、EV化に伴う業界再編に備え、その他産業分野にも多角化しており、優れた加工技術を持った日本メーカーとの協業を希望する。



5G通信アンテナ

CIN18

# カーティク・テクノ・ソリューション

## KARTHIK TECHNO SOLUTION

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] トゥマクル (カルナータカ州)  
 [他事務所] ー  
 [HP] ー



自動車用精密部品

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 10名
- 売上高 : 750万円
- 事業内容 : 精密部品製造業
- 主要製品 : 自動車部品、ヘストシンク、ダイス
- 取引先 : 自動車メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

日本企業を含む多くの多国籍企業が事業を展開しているトゥマクル工業地帯に所在し、主要事業は、自動車および一般エンジニアリング産業向けの CNC 精密自動車部品の製造。高精度で複雑な精密 CNC 加工コンポーネントと部品の製造を専門とし、自動車、航空宇宙、一般エンジニアリング業界に貢献することを目標としている。代表者は、多くの貿易産業団体の理事長および取締役を務めている。

### 商談会参加目的

#### ■ 合併会社の設立

優れた技術的知識を持つ熟練労働者が不足しているため、日本企業からの技術支援と経済的支援を求めている。世界クラスの品質基準を提供できる日本企業から、適切な機械・デバイス・機器・ゲージに関する知識、生産技術、品質検査、メンテナンス、アップグレード等に関するトレーニングを受けることを期待している。事業範囲は、生産注文をしてくれるサプライヤーを探すこと、当社から製品購入する顧客を探すこと、および新規事業。カルナータカ州で事業を実施することを希望している。

#### ■ 共同開発・技術提携

自動車および一般エンジニアリング業界向けの CNC 精密自動車部品の製造に携わっているため、旋削、フライス加工、研削、その他の技術を使用した CNC 精密部品・パーツ製造に関連する生産技術、品質検査、メンテナンスなどで共同開発・技術提携を受け入れる日本企業を探している。自動車、航空宇宙、一般エンジニアリング業界を販売対象とする。当社には、一般エンジニアリング用の精密部品・部品の製造する CNC、手動の機械設備があり、生産技術、品質の向上も行っている。



自動車用精密部品

CIN19

ディスティンクト・プロダクティビティ・ソリューションズ  
Distinct Productivity Solutions

[参加予定者] 代表取締役  
[本社] ベンガルール（カルナータカ州）  
[他事務所] クリシュナーギリ（タミル・ナードゥ州）  
[HP] [www.distinct.in](http://www.distinct.in)



ギアポンプボックス

- 設立年 : 2004年
- 資本金 : 1億2560万円
- 従業員数 : 110名
- 売上高 : 9億3750万円
- 事業内容 : ギアポンプ製造・販売
- 主要製品 : ギアポンプ
- 取引先 : 自動車メーカー、農機器メーカー、重機械メーカー等
- 国際認証 : ISO9001、14001
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

当社はギアポンプの専門メーカーで自動車関連、重機械関連、農業機械関連のギアポンプが主力製品となる。ギアポンプ用部品製造、組み立てまで一貫で行い、有名自動車部品メーカーのOEM生産も実施している。自動車及びその他搬送機械以外にも、あらゆる産業の油圧駆動系に供給しており、二輪車のショックアブソーバー部品や、太陽光発電部品にも多様化している。CNCやマシニングセンター等数多くの加工機械を自動制御装置に取り組んでおり、モニタリング、制御等の監視装置導入が課題。また製品性能検査装置の開発等、生産性向上を通じた競争力アップを目指している。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

EV化はエンジン業界にとって重大な変革をもたらすが、自動車のみならず、農業機械、重機械、その他駆動系には引き続きギアポンプは必要不可欠で、ギアポンプ部品製造、同製品組み立てにおける生産性向上、品質向上につき日本メーカーの技術を導入したい。技術提携でも合弁設立でも形には拘らない。品質向上分野では性能検査機器の共同開発や生産機械の自動制御技術についても協業したい。モニタリングや自動制御には最新IT技術が必要不可欠で日本の技術には期待が大きい。



ベアリングカバー

CIN20

# CSエアロサーム

## CS AEROTHERM PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 取締役  
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://www.csaerotherm.com/>



ロータリーラックオーブン



スパイラルミキサー



クリーム充填機

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 2200万円
- 従業員数 : 74名
- 売上高 : 9億3500万円
- 事業内容 : 食品加工機器設備の製造・販売
- 主要製品 : 製パン・製菓用オーブン
- 取引先 : 製パン・製菓企業および関連産業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

インド有数の製パン・製菓用オーブンおよび関連機器メーカー。この分野で30年にわたる歴史があり、外国企業（主として欧州企業）からの技術導入も行いながら、製品ラインアップの拡大を行ってきた。インドのベーカリー市場についての豊富な知見を持ち、現在ではインド全土に5000以上の顧客と、それら顧客へのアフターサービスのためのネットワークを持つ。また、バングラデシュや中東（ドバイ）を中心にインド国外の顧客に製品を輸出している。新製品の開発や既存製品の改良のために自社にエンジニアリング部門を持っている他、試験用のベーカリーキッチンを設置し顧客のレシピ開発にも協力している。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

食品加工機器設備、中でも製パン・製菓用のオーブンや関連機器を製造している企業と、新製品の共同開発や既存製品の改善を目的とした協業・連携に向けた商談を希望している。具体的には、製造工程の改善や、品質管理の向上、新製品の開発である。

製造工程の改善では、現在材料加工についてはCNCその他各種設備機器を導入しているが、組立工程については手作業で対応しているため、日本の進んだ工程管理や5S・カイゼン手法を学びたい。

品質管理の工場では、多様な機器設備の製造のために、極めて多くの材料や部品を自前もしくは外部から調達し様々な機械で加工しているが、それらの加工精度の向上策や加工機械の検査手法の導入行いたい。

新製品の開発では、製パン・製菓業界には恒常的に新製品導入のニーズがあり、それに対応するために共同開発を行いたい。

CIN21

# プスラップ・ソリューションズ

## PthruP solutions Pvt.Ltd

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所] ー  
 [HP] [www.pthrup.com](http://www.pthrup.com)



食品加工用ベルトコンベア

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 180万円
- 従業員数 : 12名
- 売上高 : 5600万円
- 事業内容 : 食品加工関連機器製造販売、ソリューション提供
- 主要製品 : 食品加工コンベアー
- 取引先 : 食品関連メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

当社は、食品加工工場あるいはレストラン向けコンベアラインの製造、販売を主業とし、レイアウト、オートメーション化の提案といったソリューション提供も含め、お客様施設の衛生管理と食品安全を維持するためのサービス提供を強みとしたユニークな企業。先端的な洗浄ツールを提供する業界トップ企業とも提携、また、工場の監査と検査に関するサービスも提供し、厳しい衛生基準と規制要件への準拠を確保することにより、お取引先・消費者の信頼を得ている。イノベーションの進展と効率性の向上を狙い日本企業との提携を希望。

### 商談会参加目的

#### ■ 合併会社の設立

当社の強みである食品加工における衛生管理技術を提供し、すでにPolysto, Vikan, Goodway Solutionsといった企業と、食品衛生品質の向上、エコシステムの追求を狙いパートナーシップを構築している。更なる製品・サービスの品質向上、市場拡大を目指し、日本企業との提携を希望。具体的にはコンベアを中心とした食品加工関連機器を製造する企業との提携を検討したく、日本企業のインド市場における事業基盤構築を支援させて頂きたい。出資比率については日本企業との議論を通し柔軟に対応したい。



食品加工用ベルトコンベア

CIN22

# カンビウム・バイオテクノロジーズ

## Cambium Biotechnologies

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所] ー  
 [HP] ー



植林プロジェクト

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : 150万円
- 従業員数 : 36名
- 売上高 : 2800万円
- 事業内容 : 薬用植物の研究、老化予防等治療・予防薬の開発
- 主要製品 : 脱炭素実現に向けた植林技術
- 取引先 : 不動産会社等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

当社は生物工学を基礎に培養技術で有用植物組織から成分を抽出することにより糖尿病治療薬、老化予防薬等の開発を行っている。また脱炭素社会の実現のため、炭素吸収源となる高効率の植林、その持続可能な利用方法を研究している。当社の培養による薬用ハーブはその有効成分が糖尿病関連疾病（手足の潰瘍、神経障害）治療や火傷、老人の皮膚治療・予防薬として一定の効果があることは実証されており、現状医師と臨床試験中で、インド国内での販売開始に向けた認証取得の過程にある。今後有用植物培養や成分抽出に向けた機器開発を並行し、健康維持や疾病治療薬として上市する予定。

### 商談会参加目的

#### ■ 合併会社の設立

有用植物培養、有用成分抽出による糖尿病関連疾病、及びヘルスケア関連商品開発については、日本企業との生物工学上の協業全般に興味がある。植物組織培養、抽出等の技術確立のみならず、今後の上市に向けた種々臨床試験をはじめとした認証関係手続きも実施する。合併企業では、薬用植物栽培、細胞培養等の原料面、製品販売における世界的な知見供与についても期待している。

#### ■ 共同開発・技術提携

竹の利用に関して先進的である日本において、各種竹の栽培、利用方法につき共同研究を行いたい。竹は植林を実施することなく増殖可能で成長が早く、二酸化炭素の吸収効率が高い。植物としての利用方法も確立されており、4ヘクタールの竹林を収穫すると住宅40棟分の資源となる研究もある。日本企業と共同で利用方法の開発を中心とした竹の持続可能な利用法を確立したい。



植物組織培養



竹林

CIN23

## カナカダラ・アグリカルチュラル・イノベーションズ Kanakadhara Agricultural Innovations Pvt Ltd.

[参加予定者] 代表取締役  
[本社] ベンガルール（カルナータカ州）  
[他事務所] ケニア  
[HP] ー



当社ハイドロゲル製品

- 設立年 : 2013年
- 資本金 : 750万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : 225万円
- 事業内容 : 化学製品製造業
- 主要製品 : 土壌改良、施肥用の高吸水性特殊ポリマー（ハイドロゲル）
- 取引先 : 農業事業者
- 国際認証 : ISO14001
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

農耕地の土壌改良（保水性・施肥効率の向上）に用いられる高吸水性ポリマー（ハイドロゲル）の製造・販売に特化したスタートアップ企業。  
同様のハイドロゲルは多くの化学企業から提供されているが、当社は創業以前から農作物の成長や土壌改良についての豊富な知見を持っており、気候変動・旱魃に悩みながらも灌漑設備等の高額なインフラに頼ることができない中小農業従事者のニーズに適した製品を提供することができる。製品のもととなる技術は国立インド農業研究所（IARI）により開発されたものであるが、当社は製品の製造工程について特許を所有しており、またIARI以外の多くの関連研究機関と良好な提携関係を保ってきている。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

当社はファインケミカルの製造や重合反応（ポリメライゼーション）技術に強みを持っており、農業用高吸水性ポリマー（ハイドロゲル）の分野で新たな製品の開発や既存製品の改良に必要な技術を持つ日本企業との共同開発、技術提携を考えている。具体的には、ハイドロゲルに含まれる有効成分（微生物、酵素等）をより時間をかけて放出することが可能となるような製品設計の構築、化学物質の使用を最小化しつつ、健全な土壌を維持し病虫害から作物を守るための技術の開発、ゲルの性質や機能を損なうことなく、微生物・酵素・養分等の有効成分をゲル内部に仕込む技術の開発、生分解性を持つ天然のオリゴマーを使用した重合反応の技術や、多くの水分を持つゲルの乾燥をコントロールする技術の開発、その他ハイドロゲルの連続生産・量産を可能にする技術（現在はバッチ生産のみ）について商談を行いたい。農業や環境に対する当社の考え方に共感する日本企業も歓迎する。



当社ハイドロゲル使用作物  
（左）と未使用作物の比較

CIN24

センター・フォー・ホリスティック・アグロフード・プロ  
セッシング・アンド・グリーン・エンタープライズ  
Centre for Holistic Agro-food processing & Green  
Enterprise

[参加予定者]技術開発部長  
[本社]ベンガルール（カルナータカ州）  
[他事務所]－  
[HP] <https://sciensysindia.com>



当社オフィス

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 販売、コンサルタント業
- 主要製品 : 農業、食品加工コンサルタント
- 取引先 : 政府機関、民間企業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

様々な農業・食品分野において、食品安全及び品質管理システムの実装、並びに効率改善・収益性に関する企業へのアドバイザリーサービスを提供している。一方で、当社セールスチーム並びに関係会社を通し、日本製の分析・品質管理機器を輸入・販売しており、食品・ホテル・化粧品業界に強固な販売ネットワークをもっている。また、ゴールドチェーンインフラ、包装ソリューション、フードバーク導入も実績がある。さらに日本のレストランで展示されている食品サンプルにも興味があり、インドでの製造を検討したい。

### 商談会参加目的

#### ■ 代理店契約・日本製品の販売

食品加工、化粧品、宝石関連で使うオンライン自動重量計量機器、重量計、実験室機器、保湿器を食品、ホテル、化粧品、宝石業界への強固な販売ネットワークを通し拡販したい。当社販売・サービスチーム並びに関係会社を通しての拡販は、特に南インドでの販売が強いのが特徴。すでに優良日本企業設備メーカーとの取引もある。技術提携について検討予定の食品サンプルについても、提携の立ち上げにおいては完成品での輸入を検討したい。

#### ■ 共同開発・技術提携

日本に長期滞在した際、日本のほとんどのレストランにて展示されている食品サンプルに魅了された。インドには420万軒の登録レストラン、更には数多くの未登録レストランがあり、マーケット規模は極めて大きいも、日本のような食品サンプルを店頭で展示しているところはない。生の食品を展示する店もあるが、期間が限定的で、食品サンプルのニーズは極めて大きい。トレーニングも含めた技術提携で製造を試みたいが、上述の通り、まずは完成品の輸入も検討可能。



当社オフィス

CIN25

## ニチイン・ソフトウェア・ソリューションズ

Nichi-In Software Solutions Pvt. Ltd.

[参加予定者] 取締役  
 [本社] ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所] テキサス州  
 [HP] <https://www.nichi.com/>



MacData Archiver

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : 3800万円
- 従業員数 : 160名
- 売上高 : 3億7500万円
- 事業内容 : ITソリューション、コンサルティング業
- 主要製品 : ソフトウェア開発
- 取引先 : 自動車業界、金融業界
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

## 【会社概要】

当社は日本の株式会社NDRとの合弁企業で、世界中の顧客に最適なITソリューションサービスを提供する企業である。主なサービスはデスクトップアプリ、クライアントサーバー、WEB等の各種アプリケーションの開発から、現在はソーシャルメディア、モビリティ、クラウド、SMACに重点を置いた開発を行っている。当社の顧客の多くは日本企業であることから、日本企業が要求する高いレベルでの品質、納期、コスト等の要求に応えることが可能で、KAIZENやPDCAといった日本企業が持つ姿勢、ノウハウを当社のDNAとしても取り入れ、受け継がれている。

## 商談会参加目的

## ■ 合弁会社の設立

合弁の対象としては製造業、卸売、教育、金融業界に関心があるが、その中でも特に製造業において製品開発に専門知識を有する日本企業との商談を希望している。両社の役割分担は日本企業が製品の基本コンセプト作成から設計、マーケティングを担当し、当社はソフトウェア開発、保守、強化を担当することを想定している。将来 収益が確実に得られるソフトウェア開発のパートナーとして投資や開発受託も含めたパートナーシップ構築を望んでいる。合弁会社の設立場所は日本、インド、APAC地域、米国等が想定される。

## ■ 共同開発・技術提携

当社は自動車業界や金融業界のソフトウェア開発の経験を有しており、日本およびインド、APAC地域、米国などの日本のクライアントにオフショアおよびオンサイトの技術サポートを提供している。オフショア開発やオンサイト技術サポートに関心を持つ日本企業と共同開発・技術提携を前提とした商談を希望している。今回は特にWEBおよびモバイルアプリケーション開発、産業用IoTアプリケーションの開発とサポート、ERPのカスタマイズ、エンタープライズアプリケーション開発などでの協業に関心を持っている。



StayInSmart

CIN26

# イノマントラ・コンサルティング

## Innomantra Consulting Private Limited

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://www.innomantra.com>

### [会社概要]

インドにおいてデジタルトランスフォーメーション、イノベーションに関するコンサルティングサービスを提供するリーディングカンパニーである。主なサービスには戦略的イノベーション、成長イノベーション、デザイン思考、デジタル変革、そして知的財産管理があり、インドのスタートアップ企業からフォーチュン・グローバル500に名を連ねる企業まで幅広い顧客をサポートしており、製造業、バイオ・ヘルスケア企業をはじめ、航空機関連、自動車、金融、電力・発電事業、電子・半導体業界、建設業界等幅広い産業に貢献している。

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : 20万円
- 従業員数 : 20名
- 売上高 : 1500万円
- 事業内容 : コンサルティングサービス
- 主要製品 : DXコンサルティング
- 取引先 : 製造業、バイオ・ヘルスケア企業、建設業他
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

### 商談会参加目的

#### ■ 日本企業からの購入

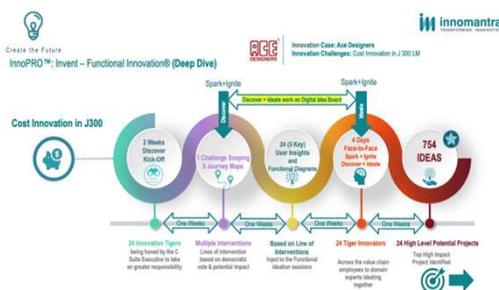
デザイン思考からデザインメイキング製品への移行を支援し、デジタルトランスフォーメーションを実装するための付加価値の高いソリューションサービスまたは製品の購入に関心がある。特にプロセスオートメーション、インダストリアルIoTソリューション、プラント資産管理、制御システム等の分野に高い関心を持っている。この分野で高い付加価値を有し、インド市場への参入を目論む日本企業に対して、当社はその機会を提供しビジネスを拡大することに貢献可能である。

#### ■ 共同開発・技術提携

当社はイノベーションとデジタルトランスフォーメーションにおける従来の経営コンサルティングから、包括的なイノベーションアドバイザリーおよび実装サービス会社へと戦略的に移行している。イノベーションマネジメントや情報技術、ロボット工学、工作機械、バイオテクノロジー、電気・電子、設計・製造サービスなどの様々な技術分野において、当社との共同開発に関心を持つ日本企業との商談を希望している。2社間のパートナーシップにより既存の顧客への付加価値を拡大させるだけでなく、新たなニーズに焦点を絞った協業の在り方の検討も可能である。



Inno Pro フレームワーク



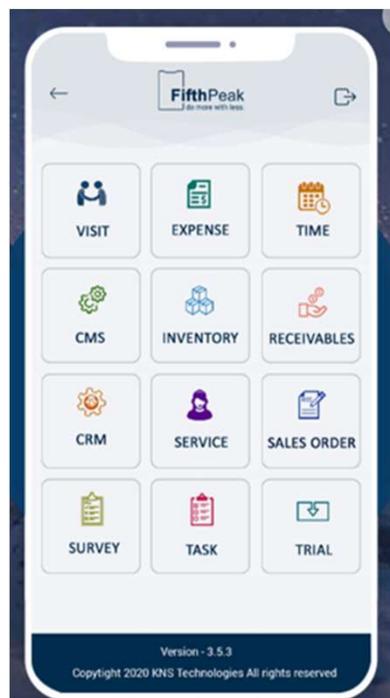
コストイノベーション  
ケーススタディの一例

CIN27

## KNS テクノロジーズ

### KNS Technologies Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] バージニア (アメリカ)  
 [他事務所] ベンガルール (カルナータカ州)  
 [HP] <https://www.knstek.com>



自社開発ERP  
“FIFTHPEAK”

- 設立年 : 2009年
- 資本金 : -
- 従業員数 : 42名
- 売上高 : 1億1000万円
- 事業内容 : ITサービス業
- 主要製品 : WEBアプリ、ERPシステム
- 取引先 : 製造業
- 国際認証 : ISO9001, ISO27001
- 日本企業との取引経験 : -

#### [会社概要]

公的機関、民間企業、非営利セクター向けにソリューションを提供するIT開発・コンサルティング企業。米国バージニア州に本社があり、ベンガールの開発拠点から本商談会に参加。

WEBやモバイルアプリケーションの開発に加え、自社開発のERPシステム“FIFTHPEAK”を展開。特に営業系システムやチケット発行などのサービスシステム開発にノウハウを有する。日本のIT企業との多様な連携を通じてインドと日本の両市場における販路拡大や新たなサービスの開発に共同で取り組むことを希望。

#### 商談会参加目的

##### ■ 共同開発・技術提携

当社の主な顧客は製造業で、営業販売やサービスシステム開発の面でノウハウを有する。そこで、日本の製造業の課題を把握の上で、双方の得意分野を活かし共同で新たなシステムやサービスを開発し、市場開拓を図っていくことを希望している。については、製造業向けのシステム開発実績の豊富なIT企業で、インド市場への展開に関心の高い企業との商談を通じ、共同開発を行い、日本・インドの両市場にサービスを展開したい。自社が営業系に強いため、生産管理など異なる分野に強みがあるIT系企業との連携を希望。

CIN28

## マックスバイト テクノロジーズ サービス

MAXBYTE TECHNOLOGIES SERVICE PVT LTD.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール（カルナータカ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://maxbyte.co/>

## Smart &amp; Sustainable Industries Solutions

スマート&サステナブル  
ソリューション事例

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 2万円
- 従業員数 : 140名
- 売上高 : 9500万円
- 事業内容 : 産業用IoTソリューション事業
- 主要製品 : 産業用IoTソリューション製品
- 取引先 : 自動車、HVAC製造メーカー
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

## [会社概要]

当社はインドにおいてデジタル化、自動化、持続可能性の分野で革新的なソリューションを提供する企業である。現在は主にインダストリー4.0と呼ばれる次世代の工業技術を推進しており、産業用IoT、AI、ロボティクス、XR(拡張現実)、ブロックチェーン、クラウド、エッジデバイスなどを活用したサービスをインド国内の顧客に提供している。これらのサービスにより、顧客企業におけるプロセスの可視化、透明性、予測性、適応性の向上に貢献すると同時に、将来のカーボンニュートラルへの移行を支援するための持続可能性プログラムも提供している。

## 商談会参加目的

## ■ 共同開発・技術提携

デジタルトランスフォーメーションプロジェクトにおいて当社の事業内容に興味を持つ日本企業と共同開発・技術提携を前提とした商談を希望している。インダストリー4.0の実現を目指し、両社で技術ロードマップ作成からアセスメント及びトレーニングプログラムの構築、トレーサビリティの実用化、持続可能性プログラムを提供することを想定している。将来的には日本企業はインド市場への参入、そして当社は日本市場への参入のように両社にとってメリットのある事業連携を模索している。

CIN29

マクログス

MACLOGS PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 代表取締役  
 [本社] ベンガルール（カルナータカ州）  
 [他事務所] ー  
 [HP] <https://www.maclogs.com>



企業ロゴ

- 設立年 : 2022年
- 資本金 : 375万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 375万円
- 事業内容 : ITサービス・ITコンサルティング業
- 主要製品 : ERPシステム構築
- 取引先 : 製造業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

当社は、SAP サービス、オートメーションなどの分野でシステム構築やITコンサルティングを手掛ける企業。得意分野はデジタルマニュファクチャリング、インダストリーX.0、IoT などの領域で、SAPを用いたシステム構築を得意とする。対応可能なモジュールも多岐に亘り、DMC、EWM、TM、IBP、MII、ME、S4HANA、UI5、CPI、Ariba、PP、MM、PS、QM、ABAP、Concur 等。日本のIT企業との多様な連携を通じてインドと日本の両市場における販路拡大や新たなサービスの開発に共同で取り組むことを希望。

### 商談会参加目的

#### ■ 共同開発・技術提携

当社の顧客はアジア太平洋地域から北米に広がっているが、日本企業との取引はまだない。SAPの中でもMII、ME、EWM、TMといったニッチな領域にも対応可能なことが当社の強みであり、日本のIT企業と双方の得意分野を活かして共同で新たなシステムやサービスを開発し、日本・インド両市場への展開を図っていくことを希望。インド市場への展開に関心の高いIT企業と広く商談を希望しており、将来的な日本での拠点設立や開発委託についても商談が広がる可能性がある。

CIN30

# スルシュティ・ファーマシューティカルズ

## Srushti Pharmaceuticals Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール（カルナータカ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://www.srushtipharma.com/>

メタバミンフォルテ  
カプセル

- 設立年 : 1985年
- 資本金 : 118万円
- 従業員数 : 37名
- 売上高 : 9300万円
- 事業内容 : 医薬品製造業
- 主要製品 : 医薬品、栄養・機能性食品
- 取引先 : 医薬品メーカー、ヘルスケア、栄養、機能性食品業界
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、CE認証
- 日本企業との取引経験 : 有

### [会社概要]

当社は、インドにおけるドラッグ デリバリー システム (DDS) のパイオニア企業。徐放性製剤（カプセルに充填されたペレット）の革新的な開発および製造を手掛けている。CGMPに準拠し、WHO認定の先端的なペレットを生産し、ブレンドやカプセルの製造専用施設がある。鉄欠乏性貧血、関節炎の治療のための数多くの製品を革新してきた。当社は、顧客主導の研究開発組織であり、厳しい品質基準を満たすことに尽力している。製品の開発から最終製品段階に至るまで、検証および品質保証プロトコルに従っている。当社は基準を遵守することで、材料、装置、プロセス、および技術担当者が正確な仕様に従って製品を提供することを保証する。

### 商談会参加目的

#### ■ 合併会社の設立

ヘルスケアおよび栄養製品に使用される原材料/有効成分の製造は、インドで大きなビジネスチャンスとなる。具体的には、タウリン、ロイシン、イソロイシン、トリプトファンなどのアミノ酸は、インド市場で高い需要があり、今後も増加が予想される。湾岸諸国やアフリカの一部でも同様。そこで、日本の革新的な製品または原材料を持つ企業と、インドおよび第三国で合併会社を設立したい。投資額は約100万米ドルで、日本企業からの投資額は40~45%の範囲になり、当社は総投資額の55~60%を投資する。

#### ■ 共同開発・技術提携

アミノ酸を配合した製品や治療用IUDR、睡眠障害などへの範囲拡大を図る予定で、当社は1つのアミノ酸のみを開発し、不十分だと考えている。開発には長いプロセスが必要で、技術協力により他の製品開発プロセスが加速されると考えている。当社はスパイスと茶抽出物などの機能性食品を製造しており、機能性食品の製品範囲を拡大するための協力を求めている。当社には、薬剤師と理学修士をもつ3人の技術者からなる技術開発チームがある。ターゲット市場はインド、東南アジア諸国、CIS諸国で、協業する日本企業には、利益分配や販売ロイヤリティを提供する。



タバミンフォルテ、  
睡眠障害用のネオバル、  
エガルテア

CIN31

# MSB ケミカル

## MSB Chemical Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ムンバイ (マハラシュトラ州)

[他事務所] ナグプル (マハラシュトラ州)

[HP] <https://www.msbchemical.com/>

医薬用溶剤

- 設立年 : 2019年
- 資本金 : 253万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 5400万円
- 事業内容 : 医薬品原料製造
- 主要製品 : 医薬用溶剤
- 取引先 : 医薬品メーカー
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、USDMF
- 日本企業との取引経験 : ー

### [会社概要]

当社はインド初の医薬用溶剤メーカーでインドの医薬方製造に関わるすべての許可を得ており、全土の医薬品メーカーに納入中である。医薬食品局に認証された最新設備を誇る工場には、自動包装ラインや試験設備も整っており、顧客の成分分析証明にいつでも対応できる体制となっている。中東、東南アジア、アフリカ諸国に輸出実績もあり、迅速でタイムリーな納入には定評を得ている。研究開発施設も完備しており、医薬用途のみならず、研究用や香水、化粧品にも用途は拡大しており、今後食品関連にも進出を検討している。

### 商談会参加目的

#### ■ 日本企業からの購入

日本メーカーの薬局方賦形剤、添加剤を輸入し、インド国内の医薬品メーカー向けに販売したい。上記販売は初期対応で、Make in India政策に乗っ取り、出来るだけ早くインド国内製造に移行したい。合併会社を設立して製造にあたる希望で、ムンバイ中心のマハラシュトラ州を予定している。インドは原料入手にも適しており、安価な労働力と周辺諸国への輸出でも優位である。日本メーカーとの合併に至る条件詳細は十分に議論を重ねて、慎重に取り決めていきたい。



製造装置

CIN32

## スンパ・ビジネス・ソリューションズ

Sunpa Business Solutions Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール (カルナータカ州)

[他事務所] ー

[HP] [www.sunpasolutions.com](http://www.sunpasolutions.com)

バイオガスプラント

- 設立年 : 2015年
- 資本金 : 189万円
- 従業員数 : 10名
- 売上高 : 2億2500万円
- 事業内容 : コンサルタント
- 主要製品 : 医療機器、廃棄物処理機器
- 取引先 : 公共機関等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

## [会社概要]

当社はコンサルタント業として、インドのみならず、中東、アフリカ等諸外国のネットワークを利用して、新規市場開拓や起業のサポートを行う。特にインド国内では、廃棄物処理分野、食品残渣、農業残渣、酪農残渣等からバイオガスを生成し燃料利用するプロジェクトを推進している。循環可能なグリーンエネルギーとしてインド政府の後押しもある。また医療機器分野では健康管理用のウェアラブル機器やCT、MRI等の診断機器についてもインド国内ならず、アフリカ諸国に販売ルートがある。上記分野に興味のある企業の海外進出について、登録手続き、規制関係調査、パートナー紹介等、相談に対応する。

## 商談会参加目的

## ■ 代理店契約・日本製品の販売

インドにおける、医療機器分野、ヘルスケア機器、廃棄物処理関係等の最新機器については、幅広いネットワークがあり、日本企業の販売代理店として国内流通に関わりたい。ヘルスケアでは、健康管理のウェアラブル機器、医療関係ではCT、MRI、超音波機器等のハイエンド診断装置、廃棄物処理では、焼却装置や、浄水装置等、持続可能性を担保した最新機器に興味がある。

## ■ 合併会社の設立

上記分野におけるインド参入においては、上記代理店販売から発展して、合併会社を設立して近い将来のインド国内生産も視野に入れた関係構築にも興味がある。日本の技術による医療機器をはじめとした機器はインド国内において今後大きな展開可能性があり、上記の様に代理店販売から始め、色々な展開が可能なので、パートナーとして日本企業と協業を希望する。



CT、MRI

CIN33

## デッカーノケイスマンツ

Deccano Casements Pvt. Ltd.  
(Deccan Group of Companies)[参加予定者] 開発部長  
[本社] ベンガルール (カルナータカ州)  
[他事務所] インド各地  
[HP] <https://deccangroup.com/>

不動産開発

- 設立年 : 1982年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 2億2500万円
- 事業内容 : 住宅用品製造業、不動産開発業
- 主要製品 : 住宅用ドア、窓、不動産
- 取引先 : 中小集合住宅の建売業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

## [会社概要]

当社は住宅用の窓とドアを製造し、施工（取り付け）まで行うメーカーで、1982年創業の老舗企業。主に塩ビ、鉄、アルミ材でドア、窓枠を製造し、ガラスは外部購入となる。WoodMateブランドで中小の集合住宅用に強く、インド全土とモルディブでの施工実績がある。住宅用窓については約3300㎡/月の製造能力を持つ拠点をベンガルール近郊に有し、ドア、窓枠材などはドイツ、スイス等から輸入している。製造に係る電力は太陽光発電で賄うなど、環境にも配慮した生産体制を構築している。地元中心の不動産開発会社と皮革中心のアパレル製造会社も運営しており、当社も含めた3社のグループ企業となっている。

## 商談会参加目的

## ■ 日本企業からの購入

ドア、窓枠の新素材を中心に住宅構造材に興味がある。アルミ窓枠では日本企業からの購入も検討している。取り扱い素材の幅を広げるにより、新たな都市開発分野にも進出できれば良いと考えている。ドアでは自動ドアなどの高付加価値品、窓では高气密性を発揮できる様な構造材、窓ガラスでは真空ガラス導入も検討している。耐火性能や、セキュリティー面での高付加価値品に主に興味あり、日本の技術に期待している。

## ■ 合併会社の設立

3社中心のグループ企業だが、ビジネスの多様化が課題である。住宅開発に関連して飲料水供給や排水処理に関わるインフラ関係で日本企業の技術を生かした合併会社設立が出来ると良いと考えている。近年インドの水不足は深刻で、環境汚染も激しく、中小の集合住宅の設計段階で給水、排水システムかつ経済的にも環境面でも優れたインフラシステムを提供できる様な取組が将来的に重要で、新規参入できると良い。

## ■ 共同開発・技術提携

ベンガルール近郊に30000㎡の工業用地、50000㎡の商業施設を確保しており、現状一部日本企業にテナントとして利用頂いている。断熱素材や住宅用ソーラーシステム等の省エネに関連する共同開発や技術提携、住宅へのエネルギー供給に関わる取組等、Make in India政策にも叶う将来的な現地生産に向けた提携事業に利用できると理想的である。



ドア、窓枠

CIN34

## ロイヤル・ハードウェアマート

Royal Hardware Mart

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール（カルナータカ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://www.royalhardwaremart.com>

ナイロンロッドI

- 設立年 : 1975年
- 資本金 : 6000万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : 3600万円
- 事業内容 : エンジニアリングプラスチック製品卸売販売業、コンサルティング業
- 主要製品 : ポリマー製品、セラミック素材
- 取引先 : 航空宇宙、防衛、バイオ、食品産業
- 国際認証 : ISO9001、米国FDA、CEマーク
- 日本企業との取引経験 : 有

## 【会社概要】

当社はエンジニアリングプラスチックの広範な製品ラインアップを提供する企業である。特にナイロンやポリプロピレンなどの素材の分野で、高い強度、優れた耐摩耗性や電気絶縁特性等に強みを持ち、多岐にわたる産業用途に対して品質と信頼性を重視したサービスを提供している。特に厳格な品質管理体制に基づき、カスタマイズされた実用的かつ効果の高いコストソリューションの提供に注力することで顧客が直面する材料選定の困難を解決している。近年は航空宇宙および防衛関連で使用される非常に高度なポリマー及びセラミックを専門としている。

## 商談会参加目的

## ■ 合併会社の設立

当社の製品とサービス、及び当社との合併会社設立により事業拡大に関心を持つ日本企業との商談を希望している。当社は日本企業に対し知見に基づいた事業計画とノウハウ、技術を提供し、日本企業はそれらのテスト、検証、製造を担うことを想定している。業界的には航空宇宙・防衛関連、高分子セラミックス、バイオテクノロジー関連、食品・ヘルスケア分野での協業を望んでいる。当社と協業する日本企業には当社が所有する技術を日本で特許化することや、それに基づく事業拡大の機会を提供することが可能である。

## ■ 共同開発・技術提携

現在、航空宇宙、防衛、バイオテクノロジー、食品産業等の各分野において、将来的に大きく成長が見込める多数のプロジェクトを保有している。食品分野における一例としては、直接摂取により免疫力を10億倍に高める有機化合物やミネラルウォーター技術。航空・防衛産業分野では潜水艦に利用されるステルスコーティング技術、水中音響・磁気・LiDARステルス技術等がある。これらの分野で当社との共同開発・技術提携に関心を日本企業との商談を望んでいる。



ナイロンシート